



学校教育目標

- ・進んで学ぶ生徒(知)
- ・心豊かな生徒(徳)
- ・たくましい生徒(体)

賞状伝達朝会で伝えたいこと！！

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われたのは、もう昔の事なのでしょうか。依然、暑い日が続き、過ごしづらい日々が続いています。イチヨウの葉が色づくのは、もう少し先になるかなと思います。

先日、夕方が過ぎ、生徒が下校して暗くなった校舎内外を歩きましたら、校内には、誰もいないはずなのに「ジージー」と音が鳴り、何かの故障かと思い探してみれば、蛍光灯にトンボが止まり羽を動かした音で少し「ホッ」としました。又外に出てみると今度は、市民体育館の間の裏庭で急に「ポトポト」と音がして、侵入者か？と思えばイチヨウの木から、銀杏の実が一度に落ちてきた音でドキドキした自分に疲れしました。季節のうつろいも感ずることもできない自分に風情のなさも感じるとともに、仕事で頭のいっぱいな自分に反省しきりの一時でした。

さて今日は、先日行われた2回の学校朝会・賞状伝達朝会の時の話も交えて私の考えをお伝えしたいと思います。

私は、全校朝会の時には、たいいてい校長室や校内に活かされている盛花(花・葉・枝などを使い一つの作品にしたもの)を飾っていただきます。それには、いくつかの理由があるのですが、私が管理職を目指したとき、指導をいただいていた先生から「吉田先生、あなたは、管理職を目指すならこの言葉を大切にしてください」と教えていただいた言葉が大きく影響しているかもしれません。その言葉は、「盛花の咲かぬ小枝も花と見や」と言うものでした。これからあなたが目指すものは、生徒・職員・保護者・地域など縁ある人々がいます。その方々の見方は、このようなものでなくてはならないという戒めでした。盛花には、花でない葉や枝があって一つの作品として、なりたっている。ですから、「花だけが必要なのではなく、すべてのものに役割があり必要なものだ」と心得なさいということです。ですから、ひとり一人を大切にするという人の敬意を表した表現の一つだと思います。



さて、ここでの話は、勝つには、「勝ち方」があり、負け方にも「負け方」があるというものです。簡単に言うと当日の事だけでなく、それまでどのような目標に対して、どのように取り組んできたかを問われ、その結果で価値が決まるということです。もちろん結果は、大事です。「結果を求めず、何事にも手を抜かず取り組むのが大切です」と言うのには、何か足りないような違うような気がします。しかし、私は、皆さんが、どのような勝ち方を皆さんはしたいのか、もっと言うと皆さんのことを大切に思っている人は、皆さんに、どのように取り組みをして勝ってほしいのか、その勝負に勝ったことにどんな価値があるかを問いたいのです。運動能力の長けているものが集まっているクラスが普通にやれば体育祭で勝つことは、濃厚でしょう。たとえば、少し手を抜いても勝てるかもしれません。しかし、それを本当に皆さんは、望んでいるのでしょうか。皆さんを本気で応援している人は、求めているのでしょうか。美原祭で歌のうまい生徒が集まり、チャチャッと歌ってうまい歌が歌えればよいのでしょうか。良く勝利インタビューで聞かれる監督や選手が「皆さんのおかげで勝つことができました。」とか「ファンの皆さんのおかげで・・・」と言われますが、皆さんとは、誰で、ファンの皆さんは、どのようなことを選手やチームに求めていると考えているのでしょうか。どんな自分を求めているのでしょうか。そこに「勝ち方、負け方」の意味が隠れています。一つの種目について述べると美原中学校に着任して初年度、まだコロナの流行していた時期です。「クラスリレー」で最後のアンカーが明らかに負けて結果が出ているのに最後まで全力で本気で走っているのに感動しました。(途中の生徒の一生懸命な取り組みも同様です)美原中に着任してよかったと思う瞬間でした。さらに今年もこの瞬間とその価値を理解し、応援し続ける



皆さんがいることです。これが私たちの求める本質だと考えます。私は、このような体験を何度も皆さんから感じ、美原中学校のことへの様々な課題に取り組むエネルギーが湧いてきます。大げさなようですが、これが次へ続く生きる源になるのです。美原中学校の生徒には、私もその価値を感じ、それを生徒と共有したく、できるだけ多くの生徒の活躍の場に足を運び、応援してから賞状伝達式に臨んでいます。このことを象徴する言葉が「本気のアートを体験できる美原中学校」目指す学校像のキャッチフレーズなのです。ある先生が「君たちの力を100%出せれば優勝だ!」と言っていたのを思い出します。これは、言うまでもなく優勝できるということではなく、それは、優勝に値するということです。そのような力を絶え間なく使い生涯に生きるエネルギーの獲得方法を体験してほしいと願っています。私は、人は、大きく飛躍する時に必ず小さな困難（感じ方は、いろいろですが）に打ち勝つことが必要と考えています。更に困難を乗り越え大きく飛躍してください。引き続き応援します。

未来を切り拓け美原中生！本気のアートを体験する美原中学校！

校長見聞録

私は、マスコミによってあまり着色されたストーリーの中に沈められているスポーツの中継が苦手だ。あまりにも出来上がりすぎていて、この選手や関係している方々の苦悩や努力は、本当に表現されているのだろうかとよく疑問に思いTV中継

などから目を離したくなる時がある。このマスコミや世間の扱いに自分の身近な人間が自分を勘違いし、道を踏み外すのを多く見てきた。プロスポーツやそのスポーツの発展のためにマスコミの力が必要なのは、よくわかる。スポーツは、きれいごとでは、なりたらず、マネージメントが必要なことも若干スポーツの世界にいたことがあるので現実的によく理解できる。ある日、妻かお父さんは、「あまりスポーツ番組見ないね」と言われた時があった。近くのに人間には、そう見えたのだろう。私は、心から生徒たちの応援は、好きだ。いい加減だろうが一生懸命だろうが、ここに純粋に人間育成の原点があるように感じるからだ。